

植物こぼれ話

厳寒に氷の花を咲かせる植物・シモバシラ

霜柱?地表にできる霜柱のことではない。厳寒の寒中、茎に見事な氷の花を咲かせる植物のシモバシラのことである。この氷の花は偶然にできるのではなく、種も仕掛けもあってできる霜柱である。植物のなかには変わった現象を演出するものがある。シソ科の多年生の植物シモバシラ (*Keiskea japonica* Miq.) もその一種で、秋に花を咲かせた後、葉や茎は枯れるが厳寒の頃、枯れた茎の根本に霜柱のような氷柱をつくる特性がある。このためにシモバシラ (霜柱) という名がつけられた。吸水力の強いこの草は葉や茎が枯れても毛細管現象で水を吸いあげ、それが茎からしみ出して凍り、次第に大きな氷柱をつくっていく訳である。こうした現象は同じシソ科のアキチヨウジでも見られる。ともあれ、秋に花を咲かせ、そしてまた他の植物は深い冬眠に入っている厳寒期にもう一度氷の花を咲かせる風流な植物である。



シモバシラ。雑木林など木陰にはえ、9月～10月に穂状の花序を出し、白色の花を咲かせる。開花期。



枯れた茎にかたまってきた氷柱

全国農村教育協会のホームページでは2009年より「話のたねのテーブル」として毎週、このような自然科学、具体的には雑草、帰化植物、山野草、樹木、シダ類、コケ類、鳥類、トンボ、チョウ、ハチ、バッタ、クモ、アブラムシ等々、身近な自然のなかから季節に対応した話のたねになるような話題をとりあげて掲載しています。興味のある方は下記アドレスからご覧ください。

<http://www.zennokyo.co.jp>

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成21年2月発行定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第42巻第11号

(送料270円)

印刷所

(有)ネットワン